

地域住民が個人と社会の幸福感考える 葵区で意見交換会

静岡市はこのほど、地域の幸福度向上を考える市民ワークショップを葵区で開いた。地域住民ら約

20人が、自身と社会全体のウェルビーイング（幸福感）について話し合った。

叡啓大学（広島市）の保井俊之教授が講師を務め、ウェルビーイングの定義や世界各国の取り組みなどについて説明した。参加者は自己紹介のほか、他のメンバーについても紹介することで個人の人物像を分析した後、複数の設問に回答して人生の満足度を計測した。紙に書き出した良い思い出を参加者同士で発表し合うことで、当時の様子を振り返り、幸福度を高める取り組みにも挑戦した。

自身と社会全体のウェルビーイングについて考えたワークショップ
静岡市葵区

